

1 期目 2007 年～2011 年 一般質問要旨

平成 19 年 12 月

温室効果ガス総排出量の削減目標について、さらなる推進を提言。平成22年3月、「鎌ヶ谷市地球温暖化対策実行計画」が策定された。



平成 22 年 9 月

維持管理において、長期的負担の平準化のため、下水道長寿命化制度の活用を提言。令和 2 年に「鎌ヶ谷市下水道ストックマネジメント計画」が策定された。



平成 22 年 3 月



荒廃した空き家の課題を指摘し、行政が空き家対策を行う等、全国の課題として叫ばれるようになる。平成 25 年、「鎌ヶ谷市空き家等の適正管理に関する条例」等の対策が講じられた。

平成 20 年 6 月

公共施設における維持管理の状況等、ストックマネジメント計画の必要性の提言。全国の課題として叫ばれるようになる。

平成 21 年 3 月

小学校、中学校の連携交流の必要性和教員の資質向上等、教育環境の充実を提言。

3 期目 2015 年～2019 年 一般質問要旨

平成 27 年 6 月

出産可能な医療機関は市内で1カ所、出生数の15.3%が市内での出産であることを指摘した。その後、産婦人科が開業する。

平成 28 年 3 月

不登校児童生徒が相談、指導、治療を受けるスクールカウンセラーの拡充を提言。その後、拡充される。

平成 28 年 12 月

防犯カメラ設置補助や公用車等のドライブレコーダー設置の必要性を提案。平成 29 年、補助制度創設された。さらに、公用車にドライブレコーダーが設置された。



平成 29 年 3 月

プロ野球球団や相撲部屋といったプロスポーツとの連携をさらに強化するよう提言。また、「するスポーツ」への支援を要望。

平成 29 年 9 月

防災危機管理全般に対する助言や全庁的な調整を担う専門職として、自衛官出身の危機管理監起用を提言

平成 30 年 3 月

障がい者のために使用する自動車の燃料費の一部を助成する制度を提案。

平成 30 年 6 月

認知症者の徘徊で踏切事故などを起こした場合に備える賠償保険制度を提案。

～市民の声を行政に～

2 期目 2011 年～2015 年 一般質問要旨

平成 23 年 9 月

救急搬送人員の約 49%が高齢者であることを指摘し、救急活動を迅速に行うための救急医療情報キット導入を要望。令和 2 年、避難行動要支援者に救急医療情報キットの配布を始める。

就学援助について、鎌ヶ谷市の認定基準が近隣市よりも厳しい現状を指摘し、平成 25 年度から、生活保護基準の 1.3 倍未満から 1.5 倍未満までに認定基準が変更される。

平成 24 年 9 月

公共施設での通信環境の整備について、公衆無線 LAN 導入を提案。平成 31 年、各公共施設にて設置される。



平成 25 年 3 月



農産物の知名度アップやブランド化へ向けた取り組みを提言。また、市街化調整区域での耕作放棄地増加を指摘し、市街化調整区域での市民農園設置を要望。

平成 26 年 6 月

子育てしやすい環境づくりを推進するため、多子世帯における保育料・学校給食費の減免制度創設を提案。令和 3 年、多子世帯における第 3 子以降の学校給食費が減免され、その後、県の補助により免除されるようになった。



4 期目 2019 年～2023 年 一般質問要旨

令和 3 年 6 月

進入道路の変更が余儀なくされている北初富駅前広場において、北側の用地活用を提案。その後、北側の用地から進入する設計が発表された。

令和 4 年 3 月

救急搬送困難事案が増加していることを指摘し、搬送先決定までの時間短縮が可能な情報共有システムの導入を提案。令和 4 年 9 月、千葉県が新規事業として導入することを発表。

令和 4 年 6 月

本市の域内経済循環率が他市よりも低い現状を指摘し、消費喚起策を含め、さらなる地域経済循環の取組を提言。その後、キャッシュレス決済ポイント還元事業が計画され、令和 5 年 2 月に実施された。

令和元年 6 月

ヤングケアラーの実態調査を提案。その後、政府が実態調査を行う等、全国の課題として叫ばれるようになる。



令和元年 12 月



ボランティアや介護予防に取組む活動に応じた健康マイレージ事業の創設を提言。

令和 2 年 12 月

犯罪被害者支援を確立するため、給付金制度や計画の必要性を提言。令和 5 年 3 月会議にて、「鎌ヶ谷市犯罪被害者等支援条例」を策定する予定。